

令和6年度事業計画および予算について (令和6年4月1日より令和7年3月31日まで)

事業計画 方針

日本経済は、一部で停滞の兆しが見られるものの、雇用や所得環境が改善しており、加えて様々な政策効果により、全体としては緩やかに回復するものと見られる。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

建築用コンクリートブロック業界を取巻く環境は、エネルギー・資材価格の高騰に加えて、人口減少に伴う人材不足が顕著となっており、特に製造に携わる人材については若年者が集まりにくい状況が続いている。

そうした中、J C B Aは昨年創立70周年の節目を迎え、新たに中長期ビジョンとして「競争から共存・共栄で、持続的発展を目指す」を策定し、ブロック業界が今後進むべき方向性を示したが、今年度はビジョンの実現に向けたスタートの一年として取組む。

J C B Aの諸活動の中心である委員会について以下の通り見直す。

旧：製品普及委員会 → 新：広報・販促委員会

旧：コンプライアンス委員会 → 新：製品規格委員会

旧：構工法研究小委員会・全充填ブロック活用小委員会 → 新：施工技術委員会

人材育成委員会については、各地域との連携を強固にするため、全国コンクリートブロック工業組合連合会（全国連）とJ C B Aの両会が共同で活動を進める。

若手会については、J C B Aとの関係を高めて活動をより活性化を図る。

J C B Aは、中長期ビジョンの実現に向けて全会員社が一致団結して、共存・共栄を目指して、ブロック業界の持続的発展に向けて工業会活動をより活発に展開していきます。

事業計画

1. 委員会活動の活性化

各委員会がブロック業界の現状を十分に認識して、活発に活動することでブロック業界全体の活性化と発展に寄与していく。

① 運営委員会

・工業会活動の全般について方針の策定、関係諸機関との連携及び協力を図る。

② 広報・販促委員会

- ・建築用コンクリートブロックの普及・需要の喚起を図る。
- ・ブロック塀の信頼性向上に向けた諸活動。(施工講習会など正しい施工の周知)
- ・InstagramなどSNSを活用した情報の発信。

③ 製品規格委員会

- ・次回JIS改訂に向けた検討
- ・製造規格-2023の販売・周知
- ・製品規格に関する質問・相談への対応

④ 施工技術委員会

- ・充填目地工法の仕様書の検討。
- ・充填目地工法に使用するモルタルの実証実験の実施。
- ・仕様書検討や実験の実施に向けた委員会の開催。
- ・工業会推奨施工図集の発刊に向けた検討。

⑤ 人材育成委員会

- ・ブロック建築技能士検定に向けた事前講習会の実施。
- ・学科検定の過去問集の頒布・販売。
- ・技能競技グランプリの開催・支援。

2. 春・秋の講演会の開催

ブロック業界の啓発・活性化と会員知識の向上を図るため講演会の開催。

3. 国内外における研修会の実施

国内外におけるコンクリートブロックの現状を把握し、参加者自身で知識を吸収し、製品開発に役立、各社の事業拡大に貢献するため研修会を実施する。

4. プライベートガーデン推進運動の活性化

コンクリートブロックを使用した庭作りの推進を、各種の事業を通じてプライベートガーデンの啓発に取り組む。

5. 関係諸機関との提携及び連絡

関係学会・団体等に前年に引続き委員を派遣し、関係機関との連絡、調整に当たります。

- ・(一財) 日本規格協会
- ・(一財) 建材試験センター
- ・(一社) 日本建築学会
- ・(公社) 日本エクステリア建設業協会
- ・中央職業能力開発協会

6. 継続事業

- ・機関誌「J C B Aニュース」年4回の発行
- ・建築用コンクリートブロックカレンダーの制作・頒布
- ・パンフレット「あんしんなブロック塀をめざして」の有効活用
- ・ホームページを活用した情報発信